

かつての中島用水の名残、「古葛西橋」と「堰場橋」

加藤 幸一

○中川（庄内古川）のそばの中島用悪水路に架かる「古葛西橋」

中島用悪水路は、江戸川の中島方面から取水され、幸手市高須賀と杉戸町椿の境付近の中川（庄内古川）に落とされる。ここに古葛西橋（写真）がある。

欄干には「古葛西橋」と刻まれている。（写真提供は長堀榮氏）

中島用悪水路は、中島村から流れてくる中島用水（寛永七、八年頃に開削）の名残と推定され、後に葛西用水古堀（古葛西井堀）となったと思われる。



前方が北。道路は、県道319号線。手前が杉戸町椿。向かって左の川は、中川（庄内古川）。中島用悪水路が向かって右から道路の下を流れて中川に注ぐ。その道路に架かっている橋が古葛西橋。



「古葛西橋」と刻まれている。

「古葛西橋」と刻まれた裏側には、この橋ができた年号が「昭和八年三月竣功」と刻まれている。（写真は加藤、向かって左の写真は刻まれた字をなぞったもの）



○中川（庄内古川）のそばの「四ヶ村落とし」に架かる「堰場橋」

堰場橋は、庄内古川の渡河地点にあると思われる、ここに堰が設けられたと推定されている。

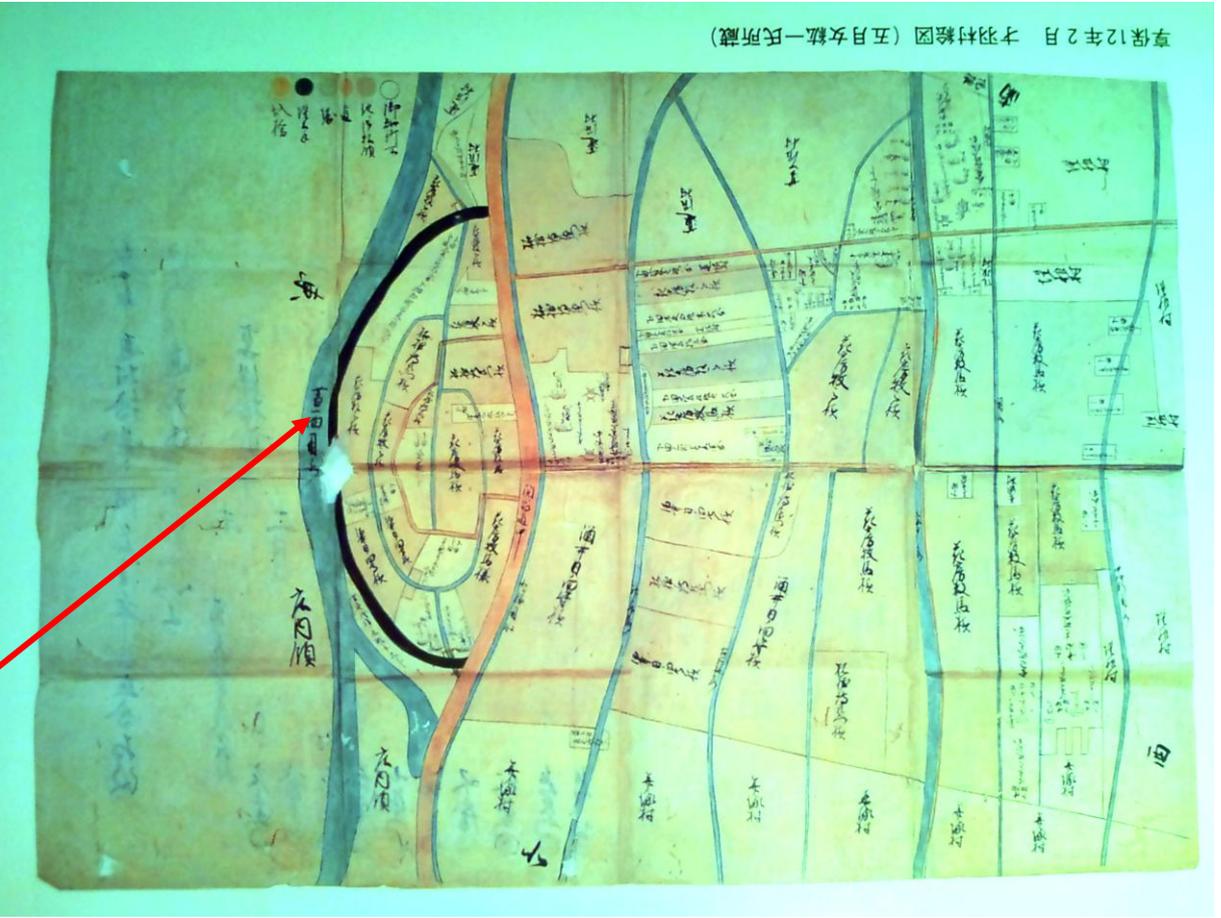


前方が南西方向。道路は県道320号線。道路向かって右奥は大塚の地。写真の手前に中川（庄内古川）に架かる松富橋がある。堰場橋は松富橋の西側隣りに架かる橋で、下には「四ヶ村（しかむら）落としが流れている。四ヶ村とは並塚・才羽・蓮沼・大塚の各村をさす。

道路向かって右側には、かつて用水が流れていたという。中島用水の名残だったのであろう。下流は現在の旧倉松落しとなり、樋堀で古利根川に流れ注いでいたと推定されている。

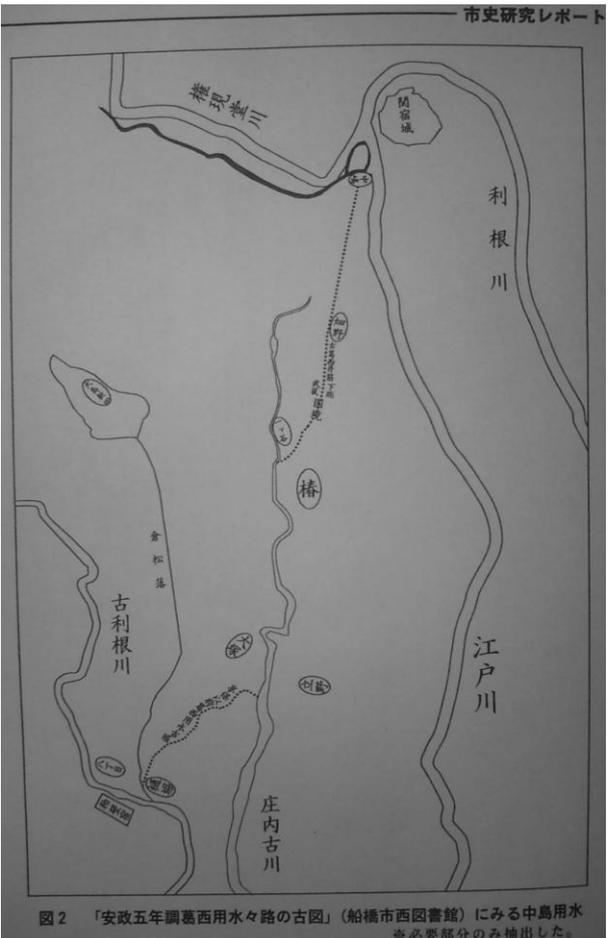
「才羽村絵図」（杉戸町才羽）

長堀榮氏作成資料資料より



享保十二年の段階で、現在の中川（庄内古川）に「葛西用水」とある。

中島用水の流路図（推定）



三郷市史研究「号」号『葦のみち』、橋本直子氏「近世葛西用水体系の成立」より、その中の図2を抜粋

八丁目と樋堀のほぼ境に流れる古利根川への「旧倉松落し」が、かつては「葛西用水古堀」と呼ばれ、これが「中島用水」であると推定されている。以上は、長堀榮氏の調査資料を参考にしました。

# 中島用水と堰場橋

安政五年調べ 葛西用水水路の古絵図

船橋市立西図書館所蔵

往古庄内、中島村ニ坎敷テ所有之葛西用水モ同村ヨリ引入レ  
今庄内古川ヲ通水同領野村幸手領大塚村ノ間ニ堰上ケ  
幸手領内ヲ通水粕壁裏ニ速テ當時ノ用水ニ入于今其跡ト  
顯然タリ本川俣村九坎ハ葛西三軍伏込幸手領而已用水  
成シニ享保ノ頃古村ヨリ葛西用水ヲ引入中島用水ヲ止  
由申傳立野村ニ今僅ニ堰場橋ノ名残レリ

